

# 平成27年度 地球温暖化対策に関する市民実態調査結果

## 1 目的

高松市では、「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、「高松市地球温暖化対策実行計画」を平成23年2月に策定し、CO<sub>2</sub>など温室効果ガス排出量削減の取組を推進しています。

このアンケートは市民の皆様の地球温暖化対策に対する意識や取組状況を把握するとともに、今後の本市の地球温暖化対策に係る施策等に反映させることを目的に、高松市民満足度調査と併せて実施したものです。

## 2 調査の概要

### (1) 調査対象者

平成28年1月1日現在の住民基本台帳から満20歳以上の市民2,000人を、中学校区ごとの登録人口で按分し、校区ごとに無作為抽出

### (2) 調査方法

市民満足度調査と併せて、郵送により配布・回収

### (3) 調査期間

平成28年1月15日（金）～1月31日（日）

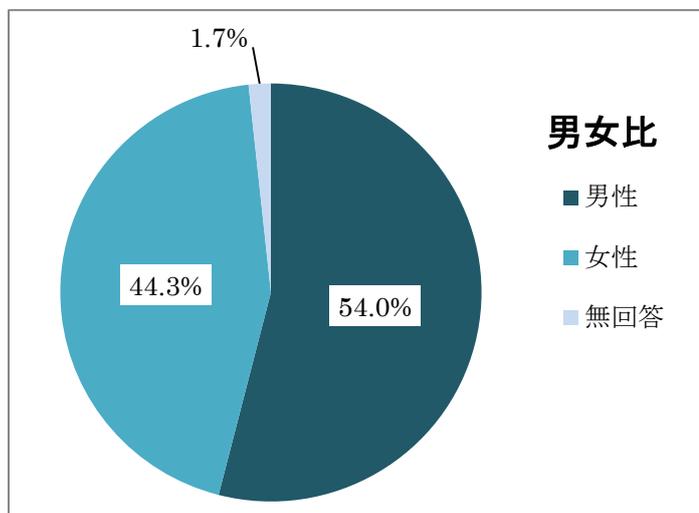
### (4) 回収率

35%（回収数 705枚）

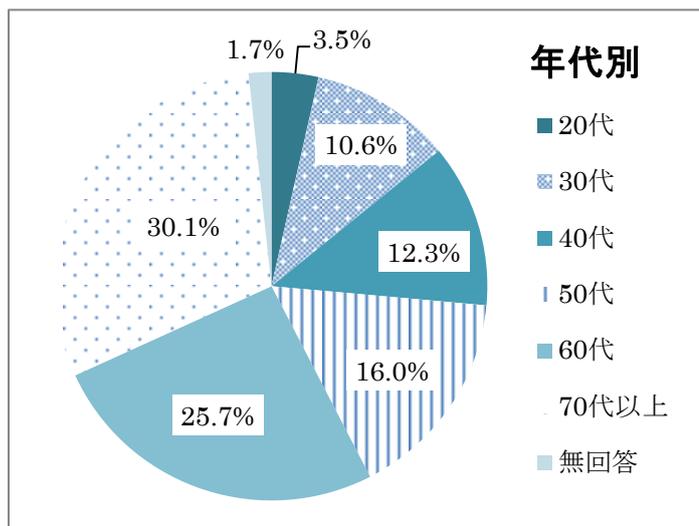
### 3 調査結果の概要

※端数処理の関係で割合（％）の合計が100%にならない場合があります。

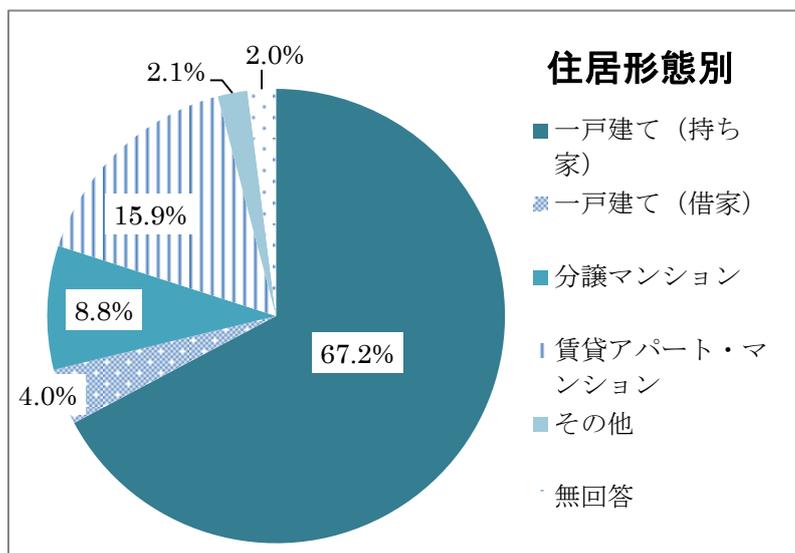
○アンケート回答者について



アンケート回答者のうち男性が54.0%、女性が44.3%となっています。



アンケート回答者のうち70代以上が30.1%と最も多く、次いで60代が25.7%となっています。



アンケート回答者のうち「一戸建て（持ち家）」が67.2%と最も多く、次いで、「賃貸アパート・マンション」が15.9%となっています。

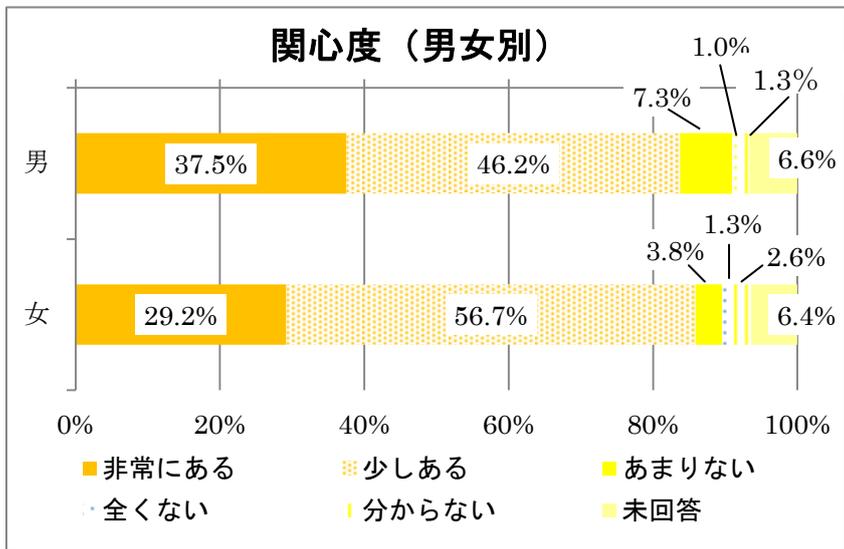
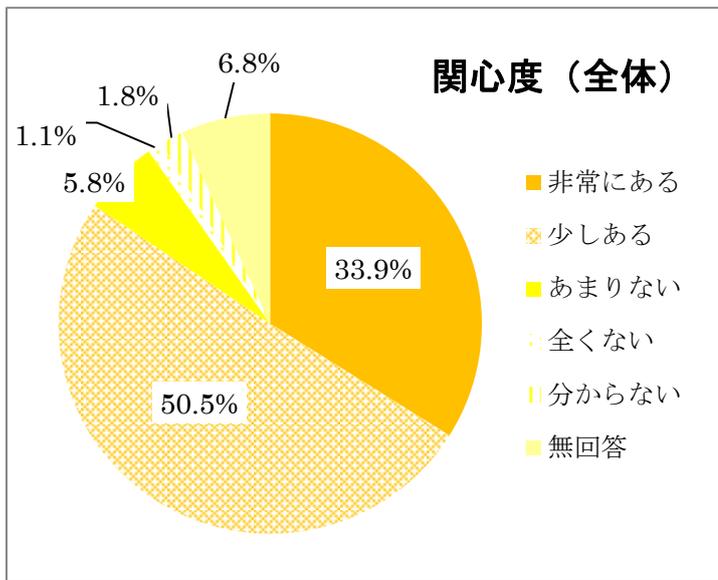
## ○地球温暖化問題への関心度について

問1 地球温暖化問題に関心がありますか。あなたの考えに最も近いものを選んで、番号に○を付けてください。

1 非常に关心がある      2 少し关心がある      3 あまり关心がない  
 4 全く关心がない      5 分からない

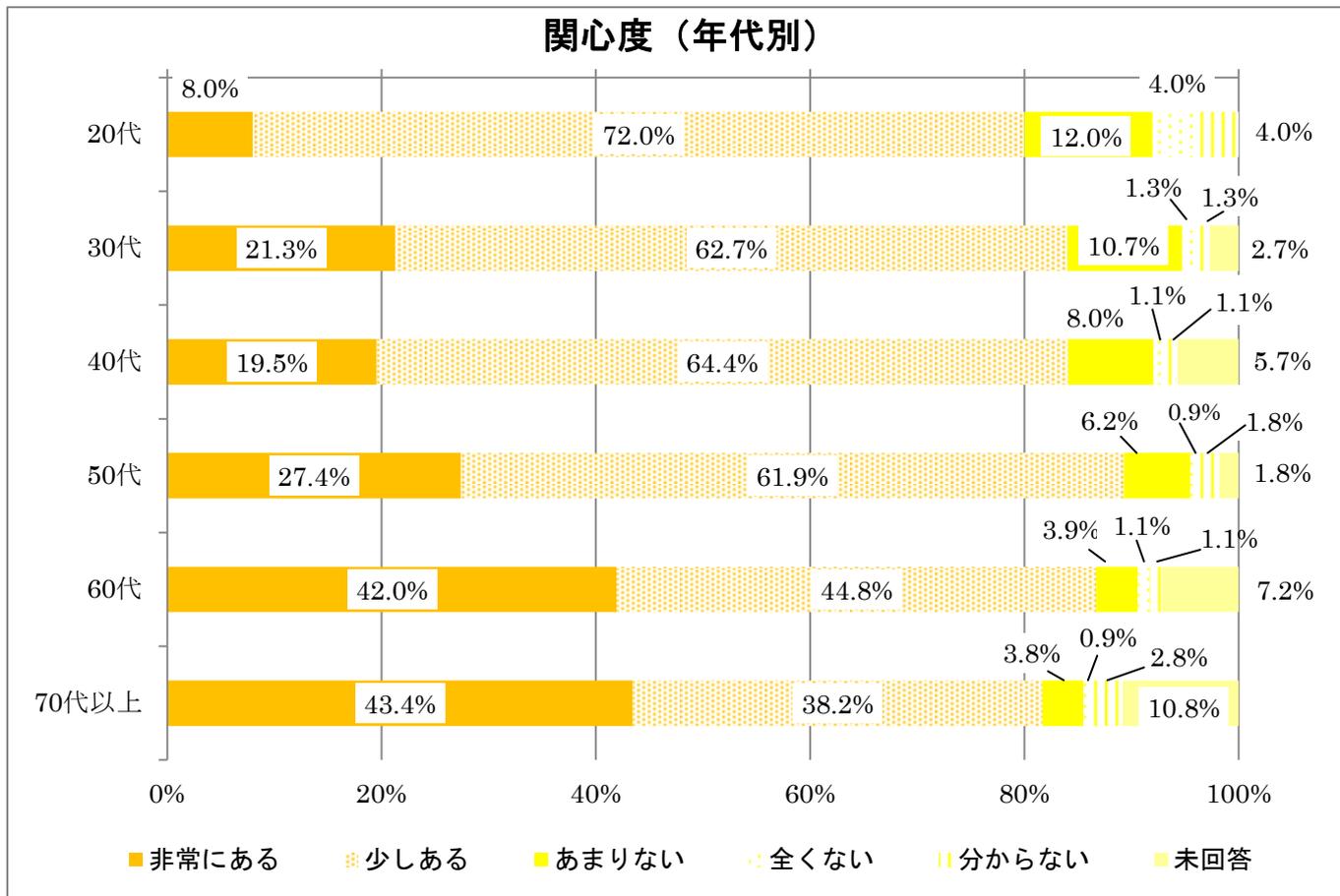
### 地球温暖化に関心がある人が約8割

「少しある」が50.5%、次いで「非常にある」が33.9%となっており、全体としては、84.4%の人が地球温暖化に関心があるという結果になりました。



男女別にみると「非常にある」の割合は男性が高い一方、「少しある」の割合は女性の方が高く、両方合わせた割合は、女性が少し上回ったものの大きな差は見られませんでした。

### 関心度（年代別）

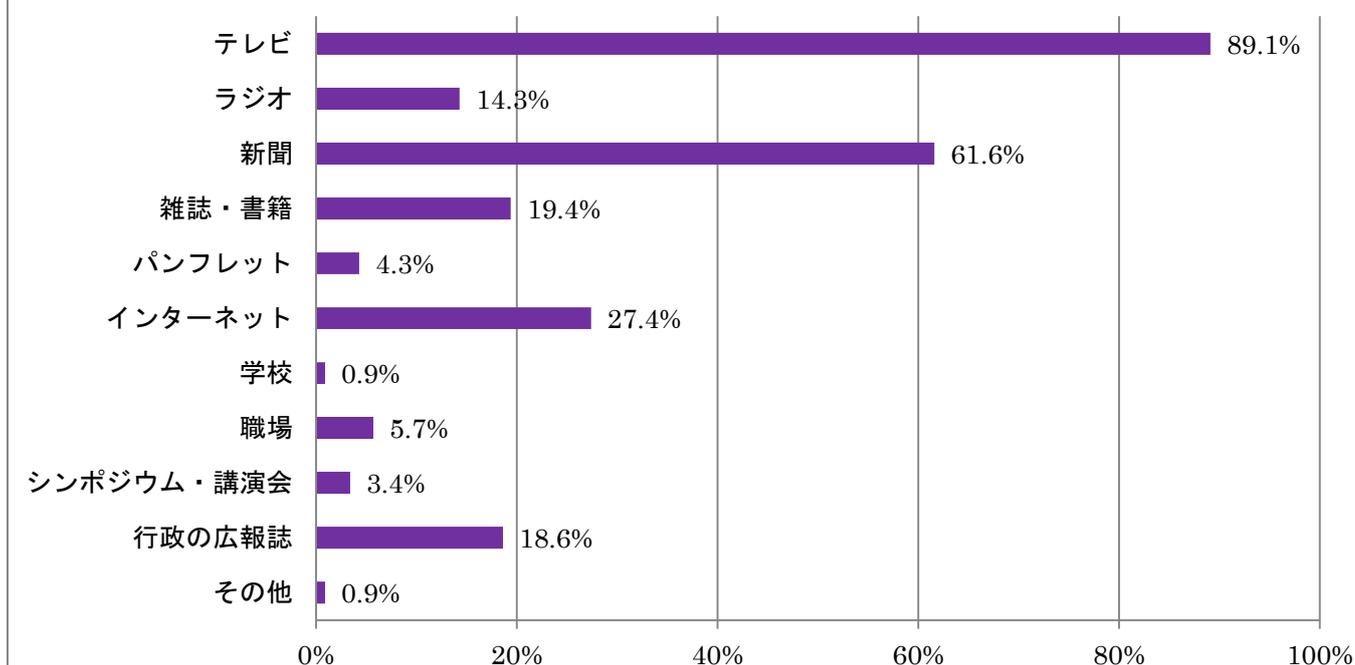


年代別にみると、年代が上がるにつれ関心が大きくなり、「非常にある」の割合が増える傾向にあるという結果になりました。

問2 あなたは、地球温暖化に関する情報を、普段、どこから得ていますか。あてはまるものすべてを選び、番号に○を付けてください。

- |           |           |              |
|-----------|-----------|--------------|
| 1 テレビ     | 2 ラジオ     | 3 新聞         |
| 4 雑誌・書籍   | 5 パンフレット  | 6 インターネット    |
| 7 学校      | 8 職場      | 9 シンポジウム・講演会 |
| 10 行政の広報誌 | 11 その他( ) |              |

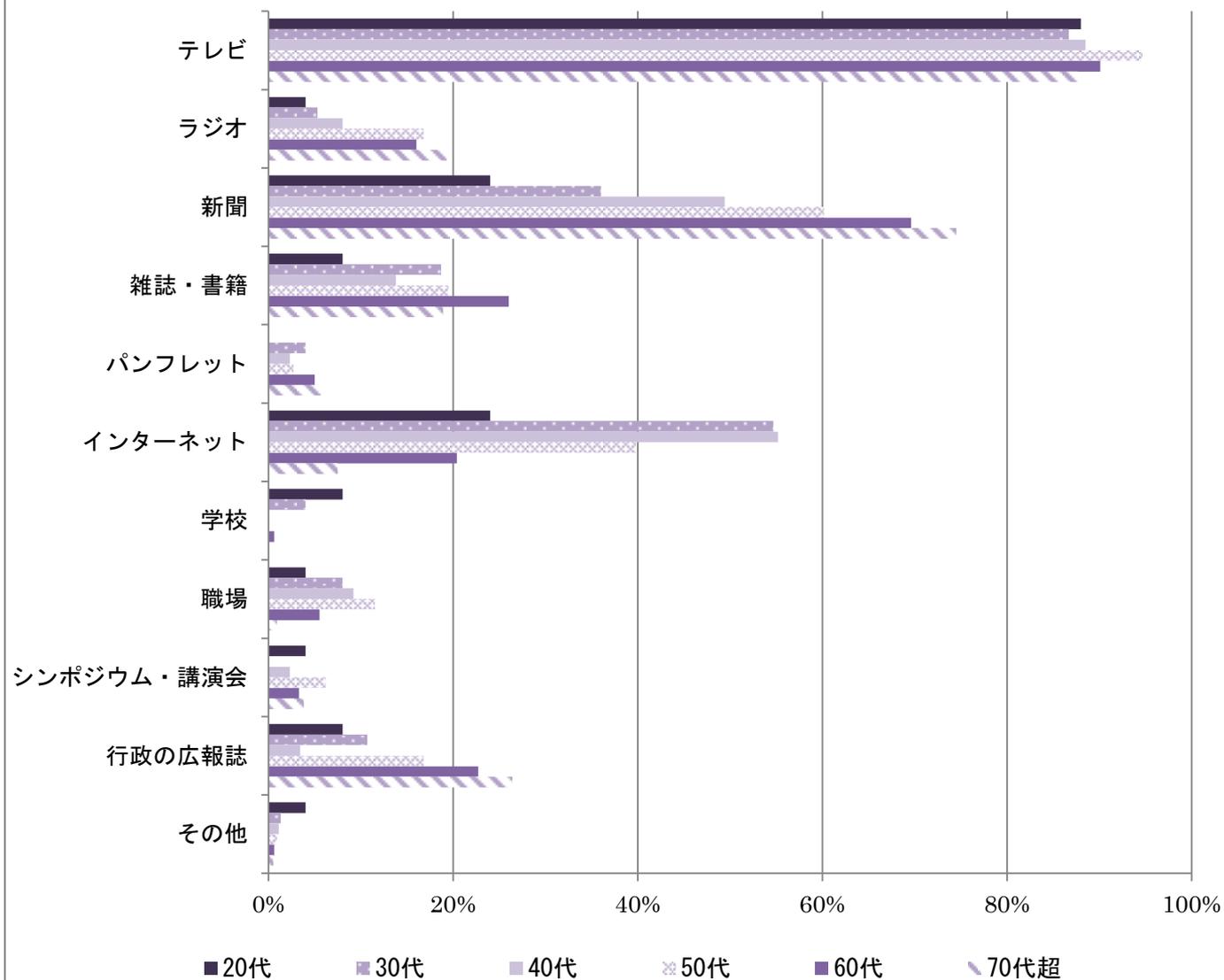
### 情報入手方法（全体）



#### 主な情報入手方法はテレビと新聞

情報入手方法としては、「テレビ」が89.1%、次いで「新聞」が61.6%となりました。ほかに割合が高かったものとして、「インターネット」が27.4%、「雑誌・書籍」が19.4%、「行政の広報誌」が18.6%という結果になりました。

情報入手方法（年代別）



年代別にみると、「ラジオ」・「新聞」・「行政の広報誌」の3項目については年代が上がるにつれて増加傾向にあることが分かりました。

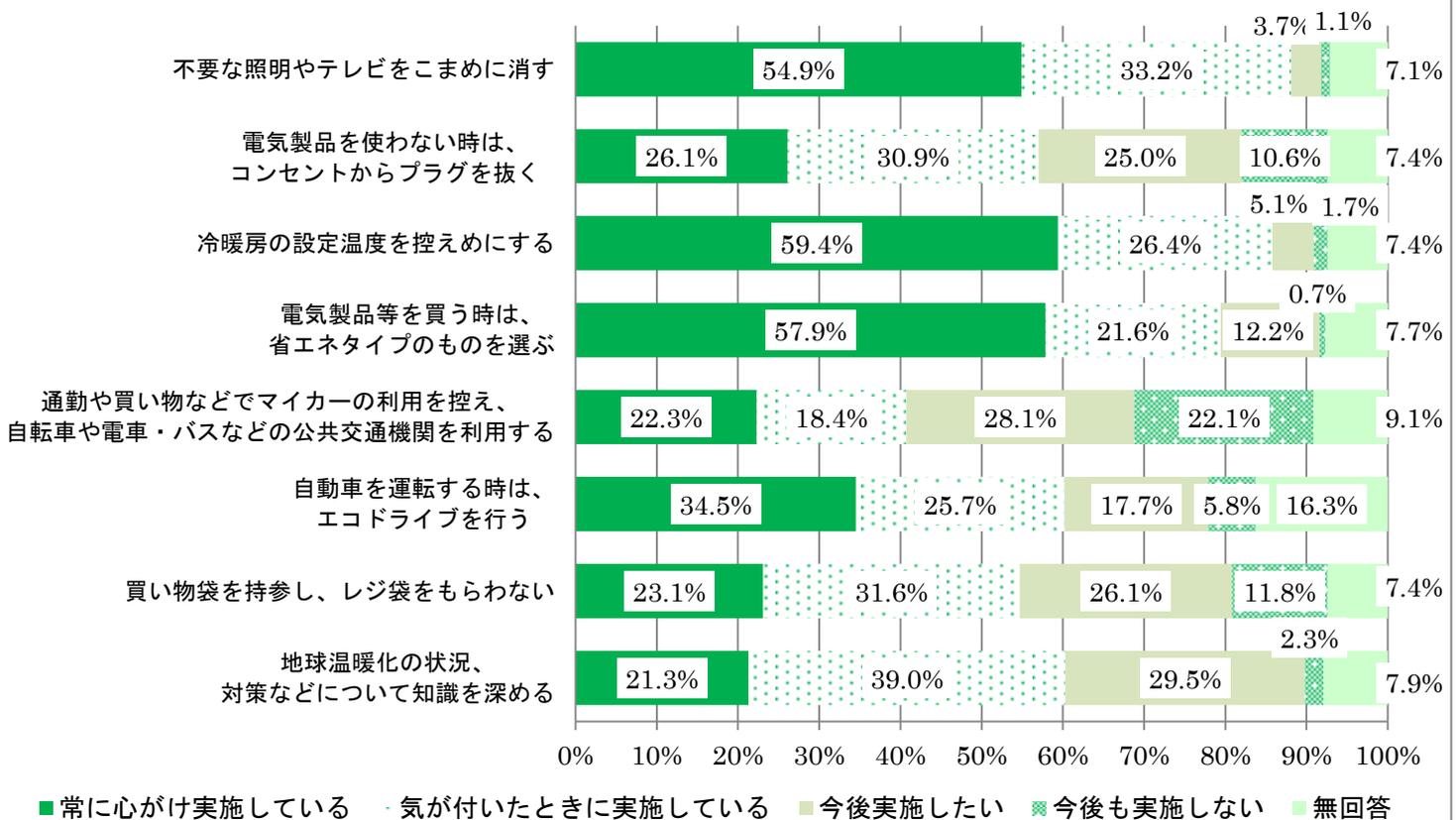
また、「インターネット」については、30代・40代が非常に高い割合で情報入手方法として利用しており、「テレビ」については全ての年代で高い割合となりました。

○地球温暖化防止に向けた取組について

問3 あなたが日頃、地球温暖化防止のために実施していることはありますか。それぞれの項目ごとに、あてはまるものを1つ選んで○を付けてください。

項 目		現在している		現在していない	
		実施している	常に心がけ 実施している	したい	今後実施 しない
(記入例 →)		1	2	3	4
1	不要な照明やテレビをこまめに消す	1	2	3	4
2	電気製品を使わない時はコンセントからプラグを抜く	1	2	3	4
3	冷暖房の設定温度を控えめにする	1	2	3	4
4	電気製品等を買う時は、省エネタイプのものを選ぶ	1	2	3	4
5	通勤や買い物などでマイカーの利用を控え、自転車や電車・バスなどの公共交通機関を利用する	1	2	3	4
6	自動車を運転する時は、エコドライブを行う	1	2	3	4
7	買い物袋を持参し、レジ袋をもらわない	1	2	3	4
8	地球温暖化の状況、対策などについて知識を深める	1	2	3	4

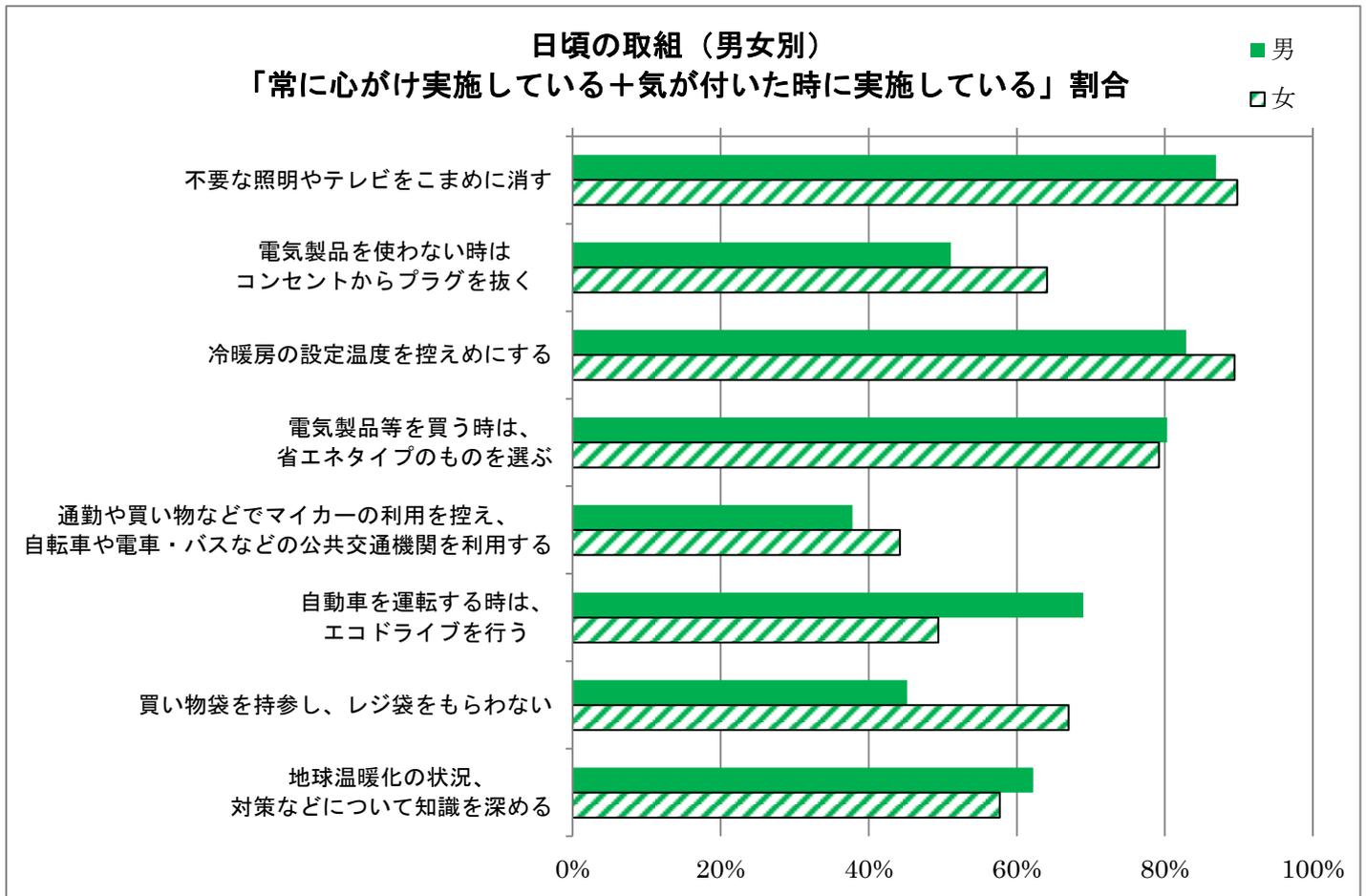
## 日頃の取組（全体）



日頃よく実施している取組は、  
 「不要な照明やテレビをこまめに消す」  
 「冷暖房の設定温度を控えめにする」  
 「電気製品等を買う時は、省エネタイプのもを選ぶ」

「常に心がけ実施している」と「気が付いたときに実施している」を合わせた割合が8割を超えているものに「不要な照明やテレビをこまめに消す」（88.1%）、「冷暖房の設定温度を控えめにする」（85.8%）の2項目が挙げられます。

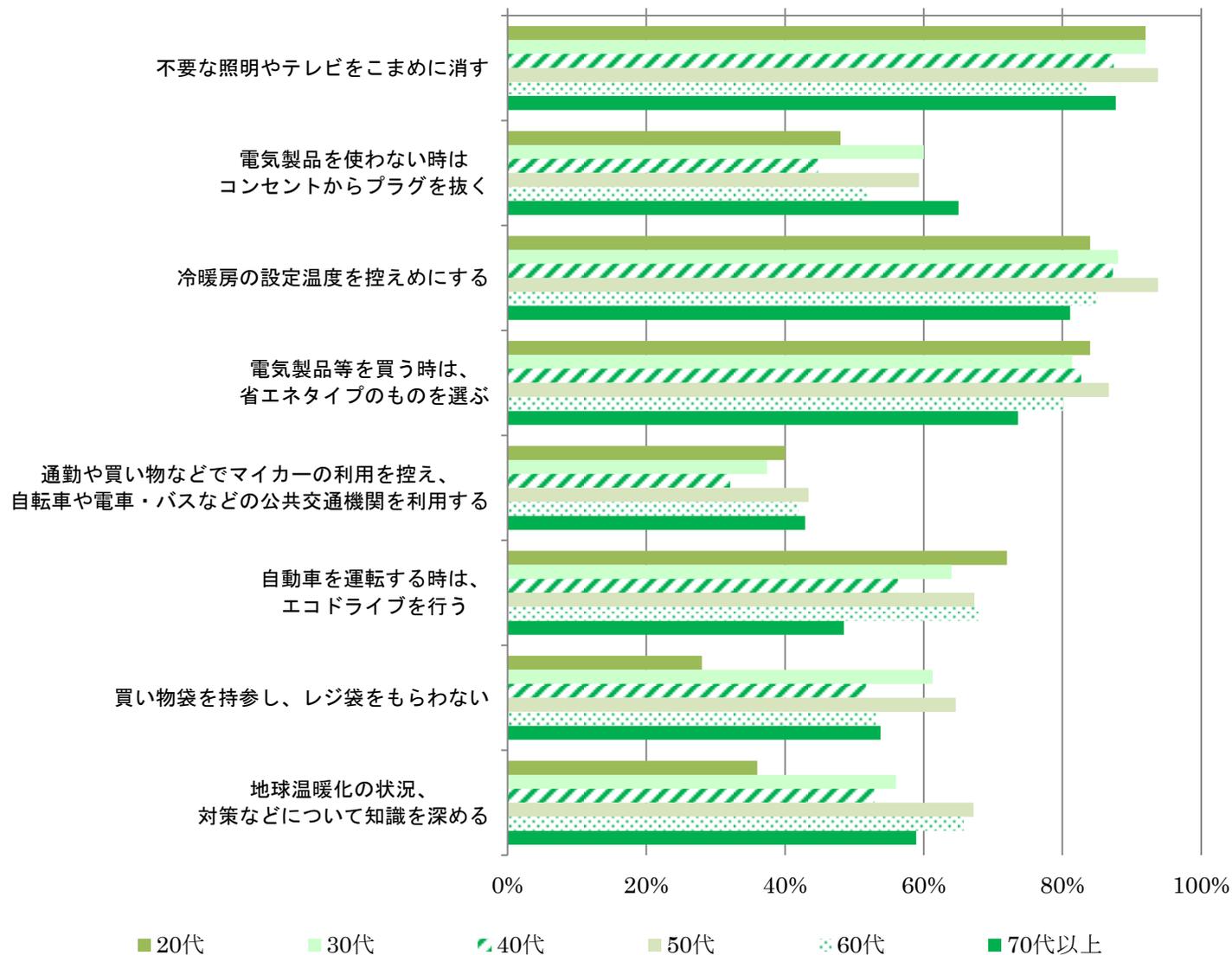
一方、「今後も実施しない」の割合が高いものとして、「通勤や買い物などでマイカーの利用を控え、自転車や電車・バスなどの公共交通機関を利用する」（22.1%）次いで「買い物袋を持参し、レジ袋をもらわない」（11.8%）が挙げられます。



「常に心がけ実施している」と「気が付いたときに実施している」を合わせた割合を男女別にみると、「電気製品を使わない時はコンセントからプラグを抜く」、「買い物袋を持参し、レジ袋をもらわない」の2項目では女性の割合が男性の割合を大きく上回る一方、「自動車を運転する時は、エコドライブを行う」の項目については、男性の割合が女性の割合を大きく上回る結果となりました。

### 日頃の取組（年代別）

#### 「常に心がけ実施している+気が付いた時に実施している」割合



「常に心がけ実施している」と「気が付いたときに実施している」の合わせた割合を年代別にみると、全体的に40代の割合が低い傾向にあると言えます。

「買い物袋を持参し、レジ袋をもらわない」及び「地球温暖化の状況、対策などについて知識を深める」の2項目については20代の割合が他の年代と比べると、非常に低くなっています。

また、「不要な照明やテレビをこまめに消す」及び「冷暖房の設定温度を控えめにする」「電気製品等を買う時は、省エネタイプのもを選ぶ」の3項目は全ての年代で高い割合である一方、「通勤や買い物などでマイカーの利用を控え、自転車や電車・バスなどの公共交通機関を利用する」の項目では全ての年代で低い割合となっています。

問4 あなたのお宅では、地球温暖化防止につながる省エネルギーや自然エネルギーに関する設備等を導入していますか。それぞれの項目について、あてはまるものを1つ選んで○を付けてください。

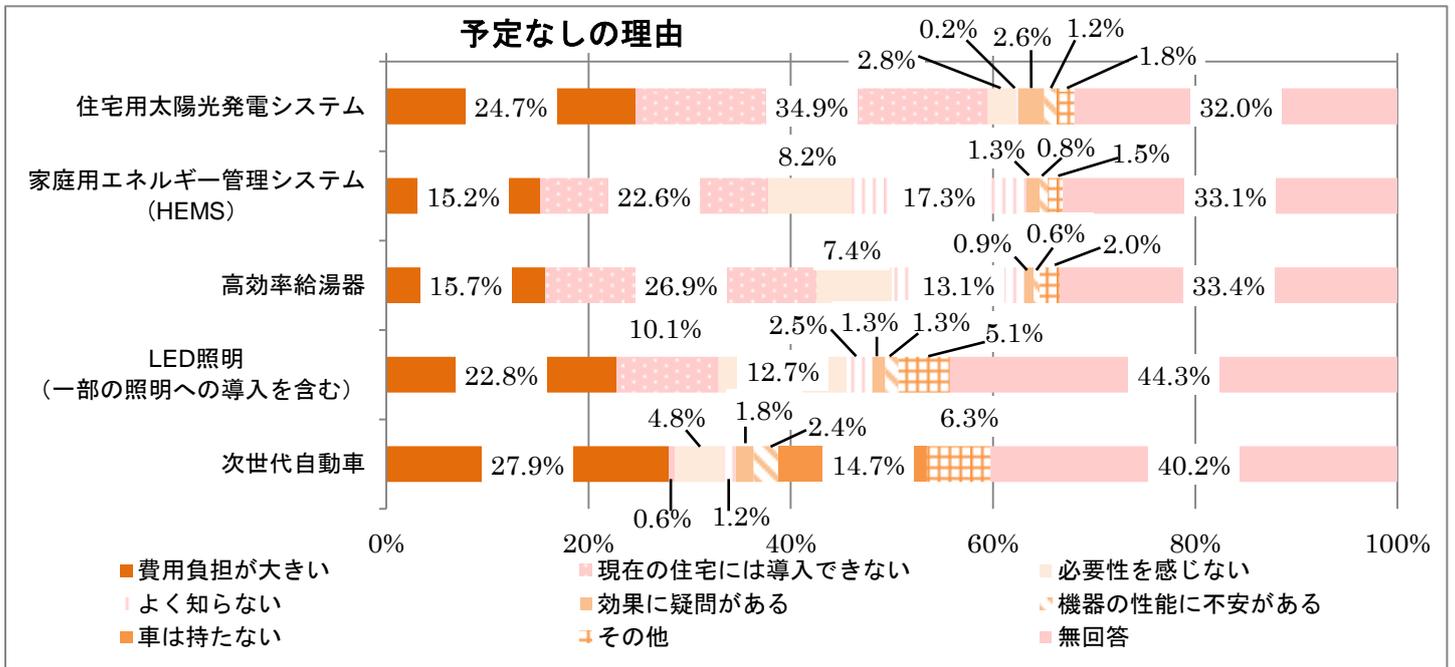
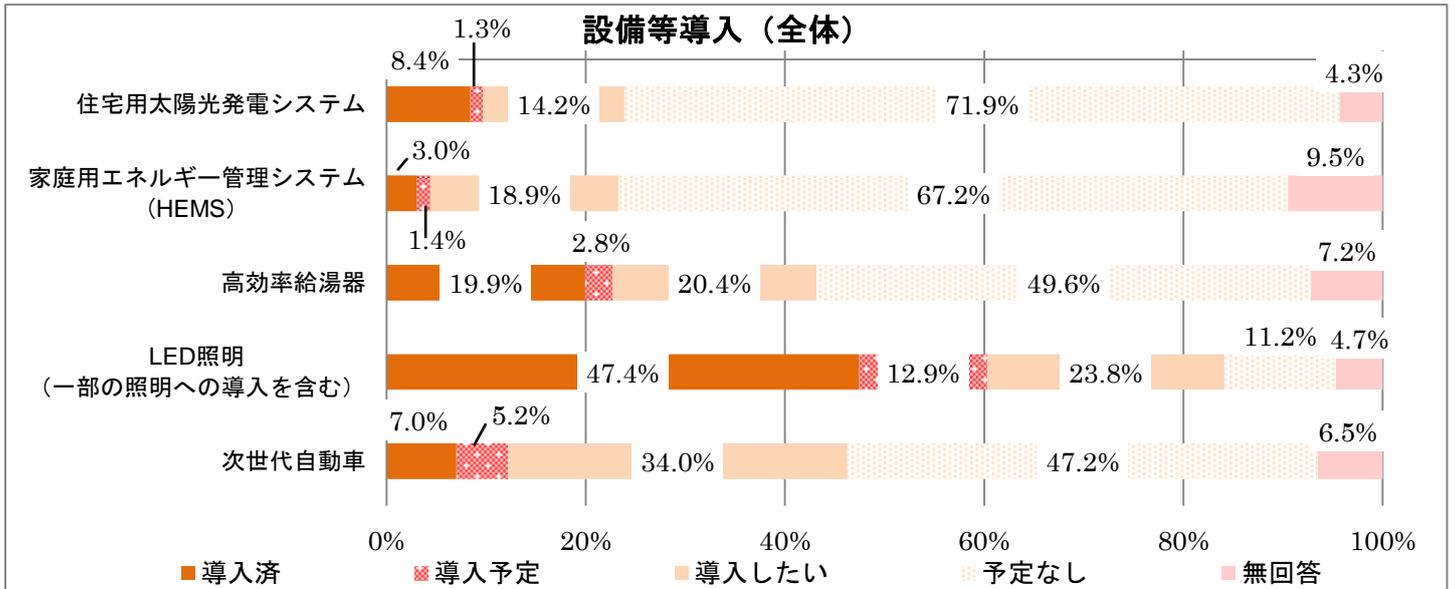
項 目  (記入例 →)		している	既に導入	予定	今後導入	たい	導入してみ	はない	導入の予定	理由(※1)
		1	2	3	4	B				
1	住宅用太陽光発電システム	1	2	3	4					
2	家庭用エネルギー管理システム(HEMS)	1	2	3	4					
3	高効率給湯器(※2)	1	2	3	4					
4	LED照明(一部の照明への導入を含む)	1	2	3	4					
5	次世代自動車(※3)	1	2	3	4					

※1 「4(導入の予定はない)」を選択した場合、その理由を下記(A~H)から1つ選び、上記の理由欄に記号を記入してください。

A 費用負担が大きい B 現在の住宅には導入できない C 必要性を感じない D よく知らない  
E 効果に疑問がある F 機器の性能に不安がある G 車は持たない H その他

※2 高効率給湯器とは、CO<sub>2</sub>冷媒ヒートポンプ(通称エコキュート)、ガスエンジン給湯器(通称エコウィル)、潜熱回収型給湯器(通称エコジョーズ、エコフィール)、家庭用燃料電池(通称エネファーム)を指します。

※3 次世代自動車とは、電気自動車、ハイブリッド自動車、プラグイン・ハイブリッド自動車、クリーンディーゼル自動車、天然ガス自動車、燃料電池車を指します。



#### LED照明は、約5割が導入済

「導入済」の割合が高いものは、「LED照明」が47.4%、次いで「高効率給湯器」が19.9%という結果になりました。

一方、「住宅用太陽光発電システム」、「家庭用エネルギー管理システム(HEMS)」、「次世代自動車」については、「導入済」が1割に満たない結果となりました。これらを導入しない理由としては「費用負担が大きい」ことが3項目すべてで主な理由として挙げられ、「住宅用太陽光発電システム」、「家庭用エネルギー管理システム(HEMS)」の2項目では「現在の住宅には導入できない」、「次世代自動車」の項目では「車は持たない」ということも主な理由に挙がりました。また、「家庭用エネルギー管理システム(HEMS)」は「よく知らない」と回答する人も多くいました。

## ○地球温暖化対策についてのご意見

※質問趣旨と異なる回答は除外しています。

### ◆20代

(男性)

- ・職場を通して温暖化対策について日々考え伝えております。

(女性)

- ・次世代自動車の価格がもっと安くなれば、購入の検討をしたい。

### ◆30代

(男性)

- ・火力、原子力以外の自然エネルギーで電気をまかなえる様にしてほしい。
- ・中国や他のアジアの国にもきちんと温暖化対策をしてほしいです。
- ・エコカー等を行政が率先して導入すればよい。

(女性)

- ・個人レベルでは不可能と考えます。行政、メーカーが行うべき。
- ・アイドリングのストップ運動をしたらいいと思う。
- ・地球温暖化について懐疑論される本などがあり、紛らわしいです。自然エネルギーや節電など賛成派ではありますが、地球温暖化に対して真剣に向きあわなければいけない時代なのであれば、そういった証明をするものを市民に周知し、伝え、図書館にも特集を組んだり、高松市でも再生エネルギーを100%実現できる町にしてほしい。
- ・電気自動車に興味はあるが、費用がかかるので購入できない。

### ◆40代

(男性)

- ・CO<sub>2</sub>と温暖化は無関係であると主張する科学者が大勢おり、またそれを裏付けるデータも多数あるため、結論ありきの対策には疑問を感じる。
- ・知識はあるが、実行は小さな積み重ねや経済的負担もあり難しい。
- ・太陽光発電システムの導入補助金、電力買取価格、ハイブリッド自動車のさらなる減税や補助金等支援の強化をしないと広がりには弱いままである。
- ・日本だけではどうにもならない。
- ・太陽光発電設置に対しての補助金はあるのか？あるにしても周知が不十分と感じられる。
- ・温暖化ガス（CO<sub>2</sub>、フロン等）について未だに仮説だけでしかなく、政治の戦略や国家の政略として利用しているのをマスコミが扇動しているように見える。産業革命前の生活にもどすこともできやしない人類が温暖化対策など茶番であると思います。

- ・もっと広報すべきだと思います。石油が値下がりしたからといって油断しないで、子供達の世代その先未来へと続く課題なので、みんなで共有して取り組んでいかなければならないと思います。

(女性)

- ・基本料金を超えないように生活している。車は公共交通機関が近くに無い。病院に通うのに必要。
- ・もっと電気自動車が充電できる設備が整うなら、電気自動車を購入したいと思います。
- ・省エネタイプの物にと思っていても現在使っている物がまだ使えるならすぐには換えようと思わないし、高価な物も多く換えられない。庭に花を植えたり、緑のカーテンぐらいしか身近な事ではできていません。
- ・1人1人の意識の格差があるので、みんなが自分の事として考えてほしい。
- ・高松を「自転車シティ」にして魅力的なサイクリングロードを整備して観光客が楽しめるようにしてほしい
- ・設備等は費用がかかりすぎて、子育て世代にはハードルが高すぎるので、購入するためには助成が必要だと思います。
- ・地球規模（国際社会全体）でもっともっと深刻に議論し、実行しないと難しい（発展途上国と先進国との認識の格差）
- ・何でも電気電気となっているけれど、IH調理器、ハイブリッド車、LED照明の電磁波の人体への影響をきちんと伝えるべきだと思う。健康を害してまでエコする必要があるのか？人の健康が第一です。
- ・デパートやお店などどこへ行っても夏は冷房、冬は暖房がききすぎていると思います。基準温度を決めて皆がそれを守るようにしたらいいと思います。
- ・自分が出来ることは実行しています。1人1人みんなが気をつけると、少しずつですが、良い方向になっていくと思います。
- ・とても大切だと思います。南極の氷がとけて、シロクマやペンギンが困っている映像はショックを受けます。子どもにも教育し、子から大人へと広がり、エコな生活を市として支援し、自転車などエコな生活スタイルを普及してほしい。

#### ◆50代

(男性)

- ・補助金の充実をお願いします（設備導入）
- ・太陽光発電を増やす
- ・CO2排出量に応じた課税やCO2を発生する機器を製造するメーカーへの発出量に応じた課税が必要（排出源となるものへ直接課税する）
- ・省エネルギーの設備及び省エネに心掛け、地球温暖化防止に今後更に努めていきたいと思

います。

- ・日本だけが頑張っても無意味。中国を何とかしなければ。日本も 50 年前は公害の国だった。友好的に指導してあげるべきだ。
- ・日本は頑張っていると思う。割合から言うと、アメリカ・中国の努力なしに温暖化対策は不可能である。
- ・田舎では、自動車は生活必需品であり温暖化対策につながりにくい。
- ・地球温暖化はCO2の排出によってもたらされているのではないと考えています。

(女性)

- ・少しでも個人が出さぬよう努力します。
- ・昔みたいに自然が段々無くなっている
- ・もっと節約するのみ。車なんかぜいたく品（昔の人は歩いていた）
- ・エコの為という事ですが、まだ使用出来る物を処分して新しい物を購入することを勧めるのはどうかと思います。物を大切にするという事も大切では・・・
- ・そもそもCO2排出量の多い米中の大国が積極的にとりくんでいないのに小国日本ばかりが努力を強いられるのが納得できない。又、車の次世代自動車への切り替えといっても一部メーカーの優遇としか思えない。ゴミの分別も一般に知らされていない嘘の部分も多く強制されることに不満を感じる。
- ・自然エネルギーに切り替えて行って欲しいです。長い目で見て取り組んで行って欲しいです。
- ・世界全体の協力が大切。一人一人の行動、努力も大切。
- ・とにかく中国がきちんと対応してほしい。地球に生きている限り、子供たちや動植物のために努力していくべきだと思う。
- ・太陽光パネルの廃棄の際の処分方法に疑問がある。
- ・ゴミを増やさない生活を心がけています。
- ・次世代の子供たちの為にも良い環境作りに大人が大いに関与すべきだと考えている。できることがあれば高松市市報で周知して欲しい。市報などネットで配信するなど紙ベースも希望者だけにするなど検討すべきだと思う。
- ・市が先頭に立って対策を立て、より多くの市民に関心を持ってもらえれば良いと思います。
- ・マイカーの利用を控え、公共の交通機関とあるが、市内まで出かける時にバスしか通ってなく、本数が少ないので利用しにくい、市長はその点は理解していますか？料金も高額である。
- ・日本のみでなく地球規模でやらないと無意味
- ・地球温暖化対策は非常に大切な事であるが、十分に理解していない人々も多い。行政からも市報その他を通じて緊急の課題であるとの情報を広める必要がある。危機的状況にあ

る地球温暖化を一刻も早く食い止めなければならない。

- ・補助金
- ・対策ではありませんが、気候変動について導入していくのはどうでしょうか。ゆでガエルになっている現状で、具体的な話をしないと他人事で終わってしまう。
- ・春から電力小売りの自由化が始まります。色々な選択肢の中から選んでいこうと思っています。
- ・県外（四国以外）に住んでいたのが驚いたのですが、意外と太陽光システムは多く、舗装の道路が多くよく完備されているが、花だんや植木（街路樹）が多いとかという点でもう少し街並みを整えて自然なビオトープを導入したり、草木・遊具のある公園を街の中に入れて、歩道と緑を多くしてほしい。アスファルト・コンクリートからくる瓦町付近もビルの中の熱風など考えて、街並みから公園から歩道から温暖化が苦痛にならない風通しよい環境にも力を入れてほしいと常に願っています。

#### ◆ 60代

(男性)

- ・徐々に化石燃料を止めて行く方策を取るべきだ。安全の面より、更に原子力は減らして行くべきだ
- ・世界が一つになって推進していかなければならないもの考える。
- ・気候変動が多く、非常に心配している。普通の地球になる為に1人1人が努力をしたい。
- ・地球温暖化にならないようにしなければならないが、原子力発電が再稼働するのは反対である。再生可能エネルギーとか多少経費がかかっても危険をさけなければ、未来がありません。
- ・発展途上国への技術支援と資金支援をするべきと思います。
- ・小さな事を寄せ合えば大きくなりますから、市民全体への普及推進活動を進めて下さい。啓発活動が大切ですね。学校教育の場で道徳教育が一番大切な時代かも？ですね。
- ・地球規模で取り組むべき重要課題。身近な所からだと思うが、行政として数値目標等を条例等で具体的に示すべき。
- ・公共交通機関を増やして欲しい。
- ・地球温暖化は人間が生きる限り生じる。CO<sub>2</sub>の排出減少と同時にエネルギーを使ってどんな生活をしたいのかを考えなければ単に現代生活の延命等にしかない
- ・今の日本は石炭を多用し海外にも普及を促進させているのを知っていますか？言ってる事とする事に大いに矛盾を感じる。
- ・早寝早起きして夜あまり電気を使わない方向が良い
- ・自分自身が出来る事（実行可能な事）を少しずつでもやってみる。

##### 1. 自宅の庭に木を植える

2. ブロック→生け垣にする等、又促進にあたり助成金等も検討する。

- ・ 市民一人一人が温暖化防止に向けた意識を持つことが重要。交通安全に対する意識で特に感じるが、高松市民は「自分さえ良ければ良い」と言う気持ちが強いように思う。
- ・ HEMS、蓄電池導入時補助してほしい。
- ・ 温暖化対策の重要性を具体的に広報などで示す。
- ・ 温暖化は石油係のように思われていますが、それは一部だと思います。長い歴史の中でほんの一部だと思います。
- ・ 電気、化石燃料は必要最少限度で無理しない程度に使っている。
- ・ 現代の社会では対策はむつかしいでしょう。もっと破滅的状况になれば少しは動くかな？日本はこの分野では他の先進国に比べて、大変遅れている。政治家の知能の問題でしょう。
- ・ 水素ステーション建設のサポートをしてはどうかと思います。
- ・ 香川県は公共交通網が不十分である。マイカーが手放せない。高松市内（周辺を含む）をめぐるバス路線の整備を求める。
- ・ 確実に日本列島は亜熱帯化になると思う。
- ・ 小さいエネルギーの積み重ねによる対策も必要だが（効果が少ない）  
大きいエネルギー、特に温暖化の元となっているCO<sub>2</sub>等を考えないと効果はほとんどない
- ・ 原子力発電に対する高松市の考えを明確にして欲しい。
- ・ 政府を中心にして、国内の環境整備を率先して行ってもらいたい。安易に排出権を金で買入れ入るのではなく、自主的に省エネ対策を期待したい。
- ・ コンクリート・アスファルトの生活様式を止めるべき。昔の建物方式に戻すべき。（藁葺き屋根に土壁・高床）
- ・ 温暖化対策は市民レベルの対処では無理であろうと思います。企業の方の対策が重視されるべきですが、それで経済などが消滅するのはがまんできないと思います。
- ・ 先進国と発展途上国の意見の相違を見てみると、結局、“豊かさ”とは何？かを問われているのではないかと思います。私はその答えはボタンにあると考えております。
- ・ 日本は火山が多いので地熱発電をもっとやるべき。日本は海に囲まれているので潮流発電をもっとやるべき。
- ・ CO<sub>2</sub>排出により本当に地球温暖化が進んでいるのか、十分解明されていないのではないかと思います。

(女性)

- ・ 家庭では今ある製品に限界が来なければ買い替えるというのは難しい。次期には省エネに協力するような製品は買うようにしています。公共の場所で節電を考えていただければと思います。我が家も次世代の製品は地球温暖化防止につながる製品にしていきたいと考え

ています。

- ・個人個人が気がついた時に電気のコンセントをぬくとかテレビを観ない時は心がけてスイッチを切る、暖房もあまり設定温度を上げないことだと思います。
- ・太陽光発電を気軽に利用したい
- ・個々で出来る事は実施していきたい。
- ・これからは意識して実行しなくてはと思いました。
- ・地球温暖化対策と経済負担軽減は同じと思っている。難病（肺疾患）があるので、車・冷暖房の軽減はできない。
- ・緑化によりCO<sub>2</sub>の削減をしてほしい。山は雑木林にしてほしい。太陽光発電、風力発電、地熱発電等に変更し、CO<sub>2</sub>の排出を減らし、水素エネルギーを使用し、環境にやさしいエネルギーに変えて欲しい。ゴミを焼却時にそのエネルギーを電気に変え、電力会社に売って欲しい。公共の建物の屋上には太陽光発電を設置し、経費（電気代）を少しでも減らしてほしい。県の借金を減らしてほしい。
- ・子供時代に比べて電気、身の回りが便利になった為車が一人1台になってしまった。歩いているのは中高年。バス等公共機関が少なくなった。旧市内のみ発達している。
- ・小さな取り組みですが、冷暖房の設定を控えめにするなど、電気の使用をこれからもできるだけ少なくしたいです。公共交通機関を利用するのがいいのですが、電車の駅から遠くバスは便数が少なく、車で出かけることが多くなるのは残念です。各家庭及び個人の節電意識が高まったり、公共交通機関が利用しやすくなったりするのが今の願いです。
- ・太陽光発電をとり入れています。

#### ◆70代以上

(男性)

- ・自分のできることをやる
- ・排気ガスの低温化を進める
- ・日本では人口減になるので、むしろ新興国へのPR・援助が必要ではないか？
- ・対策の具体案を示してほしい。
- ・みんなで協力し合ってやれば、効果も出る。少しの努力も大切だと心がけている。
- ・企業、各個人が極力車を持たない様にするしか方法がない。狭いエリアに車輛が多すぎる！！対策：70才以上免許証返納の法制化
- ・温暖化対策は地域に合った手法で実施すべきです。
- ・中国が改善しなければ地球温暖化はよくなる。
- ・自動車等控えたいが、公共交通（バス等）が無い為使用しないと用事が出来ない。
- ・無意識の人に意識を与える機会を作る。

- ・一般家庭より大中小企業対策でしょう。
- ・対策をすれば良いのは分かっているが、なかなか実行はむづかしい。
- ・現電気料金に太陽光発電への関係費が含まれているが、太陽光発電事業者と単なる電気使用者との因果関係が理解できない。
- ・住宅用太陽光発電システムを導入したいが、私には経済が伴わず残念です。
- ・必要性をもっと強くPRし、その効果もはっきり数値が把握できる様公共機関が働きかけをお願いしたい。
- ・省エネルギー機器の展示場を設け、市民に理解を求める。
- ・一途に便利さと贅沢さを追求して地球の自然を壊し続けているわけだから、如何に自然の報復をなだめ続けられるかが問題。
- ・核問題以上に難しい問題だと思います。地球規模で考えねばならないと思います。
- ・リサイクル循環システムの推進を強力に推し進めて欲しい。
- ・温暖化対策については、各地区に在るコミセンが中心となり取り組んでいるが、もう少し共通の課題として認識を深められるよう啓蒙すべきでないか。
- ・温暖化への危険性をもっと一般の人々に知ってもらいたい。個人の省エネへの認識がいかに大切であるか等。

(女性)

- ・生活その物が便利な時代になり、昔の生活のなごりが全然みかけません。道路はコンクリート、住居もコンクリート時代ですからね。私達世代（72才）は終活ですから若い世代が心配です。
- ・発展途上国も今すぐに先進の責任等と云わず、地球規模の考えで対処すべきである。
- ・近くでもすぐに自動車で行く人が多いので（子供も含めて）歩いたり自転車を利用したりしたら良いと思う。
- ・かなり切羽詰まった状況にあると思うのですが、実際にはほとんどそれを感じられない不思議さがあります。
- ・小さなことからコツコツ…と心がけ、実施していきたいと考えています。
- ・省エネ等の設備を導入したくても年金生活者にとっては費用の面でむづかしいです。
- ・子供から老人までの指導対策を実施してほしい
- ・高齢のためもったいないの心はいつも持っています。
- ・高松市民の皆様が1人でも多く常に心がけて生活実施してほしいです。
- ・太陽風呂を30年位つかっているがそれ以上のことはわからない。
- ・幼い時からの徹底した教育又は家庭での躰
- ・電気自動車が理想的だと思う。価格も下がり、安全性があればいいと思う。

- ・もう少し若ければ導入したいと思う。
- ・地球の将来を少しでもよくしたい。
- ・田んぼ、畑、山、自然を大切にする事
- ・バスの路線の廃止が多くなりました。コミュニティバスが走っている所もありますが、もう少し考えて欲しい。通勤時のマイカーの相乗りを検討してください。(問題が多い課題ですが)